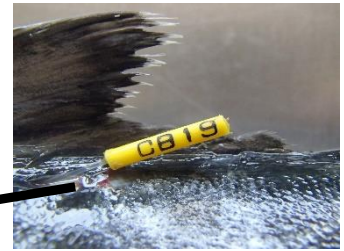


千葉県からサワラがやって来た (標識放流魚の再捕)

さわら流しさし網春漁期中の 2020 年 5 月、漁業者の方から、標識の装着されたサワラ 1 尾が漁獲されたとの連絡を受けました。標識は黄色のスパゲティタグで、文字が刻印されていました (写真)。



(上写真の裏側)

瀬戸内海ではこのような標識放流は行われていないため、情報を検索したところ、なんと千葉県東部の太平洋側で放流されたものであることがわかりました。

詳細は次のとおりです。

放流時

方 法：ひき縄による漁獲魚に標識を装着して放流

年月日：2020 年 2 月 12 日

場 所：千葉県いすみ市太東漁港の南東約 16km

大きさ：尾叉長 65cm

再捕時

漁 法：さわら流しさし網

年月日：2020 年 5 月 27 日

場 所：小豆島南東部の大角鼻の南約 6km

大きさ：尾叉長 65.5cm、体重 1,758g

放流から 105 日後、直線距離にして約 580km を移動しています。途中経路はわかりませんが、おそらく太平洋沿岸を西進し、紀伊水道から入り込んだのではないのでしょうか。

調査を担当している千葉県勝浦水産事務所にお聞きすると、この放流調査全体では、2019年12月～2020年2月に92尾が放流されており、2021年1月13日時点で、他に2例の再捕報告（5月に淡路島沖、7月に宮城県気仙沼市沖）があるとのことでした。また、今期も80尾の放流を実施したそうです。

日本周辺のサワラは、東シナ海系群と瀬戸内海系群に分けられ、近年になって漁獲量が大幅に増加した日本海のサワラは、東シナ海系群に属します。千葉県で放流されたサワラの系群は不明ですが、瀬戸内海まで移動したというのは新しい知見です。今後のデータの蓄積に注目です。

サワラの標識魚が再捕された場合は、香川県水産試験場までご報告いただきますようお願いします。また、千葉県勝浦水産事務所の連絡先は次のとおりです。

改良普及課

電話：0470-73-0108

FAX：0470-73-4644

(文責 安部昌明)